

「英語教育コアスクール」の指定について（英語・外国語教育の推進事業）

令和2年度（2020年度）
学校教育課

<事業趣旨>

- 中学校英語教員が小学校教員とともに小学校で教科指導を行うことで、小・中学校間の円滑な接続と指導の一貫性や系統性を深め、学習意欲や学力のさらなる向上を図る。
- 小学校英語学習の早期化、教科化（令和2年度（2020年度）全面実施）を踏まえて、外国語活動（英語学習）の指導方法や評価等の研究実践を行う。

<事業概要>

目的

- 中学校英語教員が小学校教員とともに小学校で指導を行うことで、小・中学校間の円滑な接続と英語学習における指導の一貫性や系統性を深め、学習意欲や学力のさらなる向上を図る。
- 小学校英語学習の早期化、教科化（平成32年度全面実施）を踏まえて、外国語活動（英語学習）の指導方法や評価等の研究実践を行うとともに、その成果を広く発信する。
- 中学校英語教員が小学校で指導を行うことを通して、小学校教員の英語学習に関する指導計画や教材、指導方法の工夫改善を進める。
- 小学校での指導をもとにして、中学校における英語科の指導計画や指導方法の工夫改善を教科部会等により組織的に進める。
- 校区の状況に応じた小中連携、小小連携の充実を図る。

対象

- 平成31年度（2019年度）及び令和2年度（2020年度）の各年度において、複数の中学校区を指定

期間

- 指定期間は、原則、単年度とする。
- 中学校英語教員による小学校での指導は、年間を通じて計画的に行うものとする。

指導体制

- 中学校英語教員1名が校区小学校の原則5、6年生の小学校外国語活動の指導を小学校教員とともに行う。（専門性、継続性を担保する観点から、指導経験を有する中学校英語教員とする。当該教員には兼務発令を行う。）
- 小学校での授業は小学校教員とのTTとし、小学校教員の指導力向上に向けた計画的な取り組みを実施する。
- 年間指導計画及び授業計画を立て、中学校英語教員と小学校教員とで定期的な打ち合わせを実施するものとする。

具体的内容

- 中学校英語教員による校区小学校の外国語活動の指導（年間を通じて計画的に行う）
 - 指導の一貫性や系統性を踏まえた英語学習の指導計画作成
 - 英語教材や評価に関する研究実践
 - 公開授業の実施（市内他校への研究実践の発信）
 - 小学校英語教材DREAMによる実践
 - コアスクール連絡会（市教委主催）及び研修会等に参加
 - 校区の状況に応じた、小中連携、小小連携の充実
- ※成果目標とその達成状況を検証できる定量的、定性的な数値等と評価方法の設定

予算措置

- 研修会・公開授業等の開催（講師報償費等：小・中学校1校あたり 15,000円）

DREAM

大阪府オリジナル英語DVD教材（全6巻）

- 英語の4技能（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと）の育成
- DVDの視聴を中心とした1回15分程度の学習で、くり返し英語に触れる
- 1年分の学習素材を各グレード1枚のDVDに収録

<小学校英語の早期化、教科化>

- 小学校高学年における外国語活動（英語学習）の教科化（授業時数増）。
- 小学校中学年における外国語活動（英語学習）の実施。

平成30年度 （2018年度）	平成31年度 （2019年度）	令和2年度 （2020年度）
小学校外国語 移行期間	小学校外国語 移行期間	新学習指導要領 全面実施
英語教育コアスクールの指定		